

栃木県茂木町立茂木中学校

第1学年～第3学年「キャリア教育」出張授業資料

働くとは何かを考える

—「一生勉強、一生青春」—

2024年11月22日(金)

13:30～16:00

40分×2回

(授業30分・質疑応答10分)



開倫塾

塾長 林明夫

- 開倫塾日本語学校理事長・校長
- マニー株式会社取締役(2004年～2010年)
- 社会福祉法人両崖福祉会
特別養護老人ホーム清明苑 監事
- 公益社団法人 栃木県経済同友会 会員

Q 1 : 働くとは何ですか。仕事をするとは何ですか。

A : (1) 「働く」とは、「仕事をする」と考えます。

○ 「仕事」とは、「製品(もの)」や「サービス」を、「お客様」に提供することと、考えます。

(2) すべての「仕事」には「お客様」がいらっしゃいます。

○ 「仕事」とは、「製品(もの)」や「サービス」を「お客様」に提供し、「お客様のお役に立つこと」です。

○ 「お客様のお役に立つ」とは、「お客様の困っていることや、お客様の問題を解決する」ことです。

(3) 同じようなお客様が、世の中にはたくさんいらっしゃいます。

○ ですから、「仕事」とは、「お客様」や「社会」のお役に立つことだと考えます。



— <ここでちょっと一休み「コーヒブレイク」です> —

(1) 皆様の興味のある仕事(職業)は、何ですか。あったら、一つ書いてください。

(2) その仕事のお客様は、誰だと思えますか。

(3) そのお客様の困っていること、問題は何だと思えますか。

○ 自由に書いてください。

(1) <仕事>

(2) <お客様>

(3) <困っていること・問題>



Q 2 : 今の仕事に就くきっかけは何ですか。

- A : (1) _____
(2) _____
(3) _____
(4) _____

Q 3 : どんな仕事をしているのですか。

- A : (1) _____
(2) _____
(3) _____
(4) _____

Q 4 : どんな資格が必要ですか。資格を取得するにはどうしたらよいですか。

- A : (1) _____
(2) _____
(3) _____
(4) _____

Q 5 : 仕事のやりがいや喜びは何ですか。

- A : (1) _____
(2) _____
(3) _____
(4) _____

Q 6 : 人はなぜ仕事をするのですか。

- A : (1) お客様や、世の中のお役に立つため。
(2) 生活するための収入を得るため。
(3) 仕事を通して、自分の夢や希望を実現するため(自己実現)。



Q7：中学生へのアドバイスがありますか。

A：(1)①学校で学ぶすべての教科は、すべて役立ちます。次の学年で役立ちます。

②高校や大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院などで、すべて役立ちます。社会に出て、仕事や、しゃかいてきかつどう社会的活動、にちじょうせいかつ日常生活で、また、よく生きる上で、すべて役に立ちます。一生役立ちます。

(2)ですから、学校を卒業した後も、各学校の全教科の学校教科書、教材、辞書、地図帳、年表、授業ノートなどは、決して処分しないで大切に保管して、一生かけて、読み直し、学び直してくださいね。



(3)部活動や当番など、「きょうかがいきょういく教科外教育」も、社会に出てすべて役に立ちます。積極的に取り組んでくださいね。

(4)社会に出てからも、勉強しなければならぬことがたくさんあります。「効果の上がる勉強の仕方」も身につけてください。

①「予習の仕方」

②「授業の受け方」「ノートの取り方(仕事はメモで身につける)」

③「復習の仕方」

④「定着の仕方」(「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」の仕方)

⑤テストの受け方

(5)「深い理解」を目指しましょう。

—「深い理解」とは、「学んだことを自分のことばで言える(表現・説明できる)こと」

(6)「辞書」「新聞」「読書」「図書館」に親しみ「読解力」を身につけよう！



Q8：最後に一言どうぞ。

A：(1)「人生は青天井、一生青天井」

(2)「一生勉強、一生青春」(相田みつを)

(3)自分のよさ、自分の可能性を、自分の力で伸ばしましょう。遠慮は要りません。

(4)「健康第一」です。「心の健康」、「からだ身体の健康」を大切に！

(5)元気なあいさつを。元気なあいさつはこちらからする。

せいちょうご清聴、ありがとうございます。

心から感謝いたします。

ご質問、ご意見、ご感想あれば、ご自由にご発言ください。

